



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月8日

上場会社名 株式会社ZUU 上場取引所 東  
 コード番号 4387 URL https://zuu.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 富田 和成  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート部部长 (氏名) 茂木 久裕 TEL 03-4405-6102  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	948	40.6	99	40.6	85	20.3	57	25.4
2018年3月期第3四半期	674	—	70	—	70	—	46	—

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 58百万円 (26.8%) 2018年3月期第3四半期 45百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	28.61	26.88
2018年3月期第3四半期	16.87	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	1,112	933	83.9
2018年3月期	725	561	77.5

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 933百万円 2018年3月期 561百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2. 2019年3月期（予想）の配当については、現在未定です。

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,170	23.9	171	139.3	151	116.4	103	130.2	51.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	2,093,790株	2018年3月期	1,886,740株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	40株	2018年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	2,018,048株	2018年3月期3Q	－株

(注) 2018年4月29日付で普通株式1株につき10株の株式分割を実施しております。2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社の決算補足説明資料は決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

2019年3月第2四半期決算短信より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の改善や良好な雇用環境を受けて、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外では、米国の通商政策に対する懸念やアジア地域における経済動向など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループのフィンテック・プラットフォーム事業が属するインターネット広告市場につきましては、株式会社電通発表の『2017年 日本の広告費』(2018年2月22日発表)によると、2017年のインターネット広告費(媒体費のみ)は1兆2,206億円(前年比117.6%)と伸びました。

このような環境下、当第3四半期連結累計期間は、「ZUU online」等の自社メディアのユーザー層の拡大等を強力に推進いたしました。その結果、2018年5月には「ZUU online」等の自社メディアの月間訪問者数が500万人を突破しました。

メディア・サービスについては、更なる自社メディアの認知度向上や訪問ユーザー数の増加に伴い、当第3四半期連結累計期間は売上高360,620千円(前年同四半期比48.9%増加)となりました。フィンテック化支援サービスについては、顧客企業数が堅調に推移したことに伴い、当第3四半期連結累計期間は売上高583,358千円(前年同四半期比36.1%増加)となりました。その他は、当第3四半期連結累計期間は売上高4,287千円(前年同四半期比22.0%増加)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は948,266千円(前年同四半期比40.6%増加)、営業利益は99,734千円(前年同四半期比40.6%増加)、経常利益は85,399千円(前年同四半期比20.3%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は57,731千円(前年同四半期比25.4%増加)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,025,859千円となり、前連結会計年度末に比べ376,498千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が359,581千円増加したことによるものであります。固定資産は86,534千円となり、前連結会計年度末に比べ10,831千円増加いたしました。これは主に敷金及び差入保証金が11,696千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、1,112,394千円となり、前連結会計年度末に比べ387,330千円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は170,191千円となり、前連結会計年度末に比べ15,043千円増加いたしました。これは主に未払金の増加8,349千円によるものであります。固定負債は8,374千円となり、前連結会計年度末に比べ42千円増加いたしました。

この結果、負債合計は、178,565千円となり、前連結会計年度末に比べ15,086千円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は933,828千円となり、前連結会計年度末に比べ372,243千円増加いたしました。これは主に、増資により資本金及び資本準備金が157,252千円ずつ増加したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益57,731千円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は83.9%(前連結会計年度末は77.5%)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の連結業績は概ね計画どおりに推移しており、2018年6月21日公表の業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	496,216	855,797
売掛金	136,212	138,818
仕掛品	770	120
その他	16,162	31,641
貸倒引当金	—	△518
流動資産合計	649,361	1,025,859
固定資産		
有形固定資産	16,148	15,062
無形固定資産	81	125
投資その他の資産	59,473	71,347
固定資産合計	75,703	86,534
資産合計	725,064	1,112,394
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	25,217	26,096
未払法人税等	25,028	13,285
その他	104,902	130,809
流動負債合計	155,148	170,191
固定負債		
資産除去債務	8,331	8,374
固定負債合計	8,331	8,374
負債合計	163,479	178,565
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	292,733	449,985
資本剰余金	277,733	434,985
利益剰余金	△9,199	48,531
自己株式	—	△285
株主資本合計	561,266	933,217
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	318	611
その他の包括利益累計額合計	318	611
純資産合計	561,584	933,828
負債純資産合計	725,064	1,112,394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	674,487	948,266
売上原価	176,039	254,679
売上総利益	498,447	693,586
販売費及び一般管理費	427,509	593,852
営業利益	70,938	99,734
営業外収益		
受取利息	2	2
助成金収入	400	201
その他	77	640
営業外収益合計	479	844
営業外費用		
支払利息	28	17
為替差損	422	21
株式交付費	—	8,359
株式公開費用	—	6,672
その他	0	108
営業外費用合計	450	15,179
経常利益	70,967	85,399
税金等調整前四半期純利益	70,967	85,399
法人税、住民税及び事業税	24,940	27,668
法人税等合計	24,940	27,668
四半期純利益	46,026	57,731
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,026	57,731

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	46,026	57,731
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△275	292
その他の包括利益合計	△275	292
四半期包括利益	45,750	58,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,750	58,023
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年6月21日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。2018年6月20日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式発行150,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ110,400千円増加しております。

2018年7月20日を払込期日とする、オーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連した第三者割当増資37,500株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ27,600千円増加しております。また、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ19,252千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金は449,985千円、資本準備金は434,985千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、フィンテック・プラットフォーム事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。